

コメディリック第5回「貧乏放し飼い」

「幸せ街道一直線」

登場人物

ジョージ

野彦

リーサ

テオ・ポー

ヤス

シロスコフ

※ジョージ、板付き

【L・明転】

爪を噛みながらリーサを一人待つジョージ

※リーサ、登場

リーサ 「ジョージ」

ジョージ 「リーサ！」

リーサ 「何してるの？」

ジョージ 「爪、食べてた！美味しいよ！」

リーサ 「ほんと！？（爪を食べ）本当だ！美味しい！」

ジョージ 「だろー？」

リーサ 「ジョージの爪、美味しい！大好物ラン

キング第1位！」

ジョージ 「だっしょ？」

リーサ 「これから何する？」

ジョージ 「そうだなー…猫を探しに行こう！」

リーサ 「やったやった！」

×××

猫を探す二人

ジョージ 「いたかー？」

リーサ 「ううん、いないー」

ジョージ 「みんな食べちゃったのかなー…」

リーサ 「ジョージ！ジョージ！いた！猫いた

よ！」

ジョージ 「本当だ！猫だ！」

リーサ 「猫だよ！」

ジョージ 「猫だ！」

リーサ 「猫だね！」

【SE・猫ー威嚇①】

リーサ 「あ、猫が鳴いた！」

ジョージ 「鳴いたな！」

リーサ 「すごい…鳴き声可愛くない！」

ジョージ 「可愛くないな！」

【SE・猫ー威嚇②】

リーサ 「フーって言うてるよ！」

ジョージ 「威嚇されてんだ！」

リーサ 「威嚇されてるのかー…フー！フー！」

「SE・猫―威嚇③」

猫に引搔かれたリーサ

リーサ 「きゃー！」

ジョージ 「てめー…この野郎！おら！おら！おらー！」

猫と格闘するジョージ悪戦苦闘

「SE・猫―威嚇①」

リーサ 「ジョージ…」

ジョージ 「もう大丈夫。楽勝よ」

リーサ 「ジョージ、ありがとう！」

ジョージ 「リーサのことは俺が守る。今度は野良のネズミでも探しに行こうな」

リーサ 「そうする！」

ジョージ 「いいこと思いついた」

リーサ 「なに？」

ジョージ 「国道に靴が落ちてねえか、見に行こうぜ！」

リーサ 「やったやったー！」

×× ×

「M・道路―C」

国道で靴を探す二人

ジョージ 「あったかー？」

リーサ 「ううん、ないー」

ジョージ 「もう誰も靴履いてねえのかなー？」

リーサ 「ジョージあそこ！」

ジョージ 「ん？」

リーサ 「あれ！ほら！靴じゃないけど、軍手が落ちてるよ！」

ジョージ 「おいおいおいこれはスゲーよ！靴よりレアだよ！」

リーサ 「ほんと？」

ジョージ 「ああ！だって靴は履いても見えないから、無くすのは当たり前だろ？でも軍手は見えるんだぞ！見えてる中で落とすんだから…レアだよ！」

リーサ 「やったやった！」

ジョージ 「リーサお前すげーよ！最高の女だ！」

リーサ 「えへへ…でも道路の真ん中にあるから危ないね…」

ジョージ 「そうだな。あぶねえな…」

リーサ 「…軍手見れてよかった！リーサ幸せだよ！」

ジョージ 「リーサ…」

道路の真ん中に飛び込むジョージ

※ジョージ、はける

「SE・交通事故ークラクション」

リーサ 「ジョージ！」

※ジョージ、登場

片腹を抑えながら軍手を持ち、戻ってくるジョージ

リーサ 「ジョージ！大丈夫？」

ジョージ 「リーサ、ほら（軍手を渡す）」

リーサ 「私に？いいの？」

ジョージ 「いらねーなら俺が貰うぞ」

リーサ 「（軍手を片っぽだけはめて） どう？」

ジョージ 「…世界一似合う」

リーサ 「やったやった！」

ジョージ 「もう片っぽどっかに落ちてるといいけどな」

リーサ 「…もう片っぽ、どっかに落ちてますよ  
うに」

ジョージ 「…よし走るか」

リーサ 「どこかに行くの？」

ジョージ 「どこにも行かねえ！ただ走るだけ

さ！」

リーサ 「走る！」

「M・FO」

×× ×

ただ走る二人

リーサ 「あはははは！うははははは！」

ジョージ 「リーサ、楽しいだろ！」

リーサ 「うん、すごい楽しい！」

ジョージ 「こうやってよう…口開けながら走つてるとよ…口が乾いてくんだぜ？」

リーサ 「ほんとに？」

ジョージ 「やってみ！」

リーサ 「…本当だ！口乾いてきた！」

ジョージ 「だろ？すげーだろ？」

リーサ 「すげー！」

ジョージ 「リーサ、今俺たち目的地も決めずに走つてるだろ？」

リーサ 「うん！」

ジョージ 「これな、目的地決めて走ると更に倍楽

しいぞ！」

リーサ 「そうなの？じゃあジョージが決め

て！」

ジョージ 「そうだなー…じゃあ…あ、いま人が飛  
び降りたビルあるだろ？あのビルまで

な！」

リーサ 「わかった！」

ジョージ 「…どうだ！倍楽しい気がするだろ？」

リーサ 「そんな気がする！」

ジョージ 「さっきまでと全然違うだろ？ゴール目  
指してんだぞ！」

リーサ 「ゴール目指してるから違う！」

ジョージ 「わくわくするだろ！」

リーサ 「わくわくする！」

ジョージ 「着いた！ゴール！」

リーサ 「ゴール！」

ジョージ 「きつもちいい！」

リーサ 「気持ちいい！」

ジョージ 「達成感？込み上げてこない？」

リーサ 「…達成感込み上げてきた！」

ジョージ 「すごいだろ！？どんどん込み上げてく  
るぞ！」

リーサ 「すごいすごい！」

ジョージ 「リーサ、今、お前、すっげーいい女だ

ぜ！」

リーサ 「ほんと？やった！」

ジョージ 「また走ろうな！」

リーサ 「また走る！」

ジョージ 「また途中で目的地決めような」

リーサ 「うん！」

ジョージ 「今度はお前に決めさせてやっから」

リーサ 「やったやった！」

ジョージ 「このビルだけ…そうだ屋上からお前  
に手を振るわ！リーサ、ここで待つて  
ろ！」

リーサ 「うん！待つてる！」

※ジョージ、はける

ジョージ 「おーい！」

リーサ手を振る

リーサ座る

軍手を外す

【L・プロジェクトのみ】

リーサ、物思いにふける感じで錠剤を出す

※ヤス、登場

ヤス 「リーサさん。これ、リーサさんのです

か？（軍手を出す）」

リーサ 「（急いで錠剤を隠し）違う」

ヤス 「ですよ。軍手プレイなんて聞いたことないっすもんね」

去ろうとするヤスを呼び止めるリーサ

リーサ 「待つて。捨てるんならあたしに出来ない？」

ヤス 「何に使うんすか？」

リーサ 「軍手プレイするんだよ。それで男のチンコしごくのさ」

ヤス 「何言ってるんすか。じゃあ、はいこれ」

軍手を渡して去るヤス

※ヤス、はける

軍手をはめるリーサ

リーサ 「ジヨージ、ありがとう」

【し・暗転】

—了—